

2012～2013年度 地区大会 運営の報告

ロータリー情報、職業分類委員会：高橋 進 会員

大会運営コンセプト

【現状認識】

昨年、3月11日の大震災は日本人の心を目覚めさせると共に、経済社会においては、リーマンショック後の緩やかな回復基調に急ブレーキをかけ、国内市場の縮小を招いた。また、ギリシャ、スペイン、イタリア等の国家財政危機によるユーロ安、次いで米国の債務上限引き上げ問題などによるドル安が輸出依存国日本の経済危機に追い打ちをかけている。

特に、日本は人口減少、高齢化、社会負担費の増大などの未知の問題に世界で最初に遭遇している。今後の政策次第では、日本の国家財政も極めて危うい状況にある。

また、明治維新における欧米崇拜、第二次世界大戦敗退による日本文化の否定、バブル期におけるモノの豊かさの追求、市場原理主義によるモノ・カネ優先の社会を形成し、日本人の心を失わせてきた。

【このような現状認識の下、地区大会実行委員長として、参加会員にご提供申し上げたいこと】

それは、「今、私たちは何をすべきか？語ろうロータリアンの役割」の思いを、参加されたロータリアンの皆様に、地区大会の場を通じて、ご提供差し上げたいと思います。

① 勉学の機会の提供 → 歴史を学ぶ（温故知新）・世界の現状を学ぶ公演等（櫻井よしこ氏の記念公演など）を通じて、「日本人の誇り・ロータリアンの誇り」を蘇らせる。

“何をすべきか”

② 会員同士の知的交流 → 友愛の広場の提供とその充実 “語ろう”

③ 会員同士の親睦 → 友愛の広場の提供とその充実。大会終了後、RI会長代理を囲んで、地区役員・大会役員はじめ、多くの一般会員が参加する親睦会の開催

“ロータリアンの役割”

以上のように、友愛の広場をはじめ、会員の大会として、会員へのおもてなしの心を豊かにして運営して参りたいと思います。

出席して良かったと喜んでいただくためには、おもてなしの心をもって会員を迎えること、それは；

一に、ガバナーはじめ主催者側のおもてなしの態度（受付での笑顔での歓迎あいさつや、適時・適切。親切な案内など）、

二に、大会での気づき・学習（RI長代理やガバナーからのメッセージ、そして記念公演者からのメッセージなど）を持って帰っていただきたいと熱望すること、

三に、昼食・友愛の広場・エンターテイメント・RI会長代理を囲む会・記念品などで楽しんでいただける雰囲気作りを心がけること、であろうと思う次第です。

【以下、松戸北ロータリークラブの担当】：9名の依頼

21日 森のホール 北ロータリークラブ5名

① 職務名 バス到着所（バス通り）

森のホール前の道路にて出迎え

場内誘導人員配置 北ロータリークラブ4名

皆様のお力を結集して、おもてなしの心をもって、この地区大会を成功させたいと存じます。ご協力お願いいたします。

社会奉仕基金 3,694円

《会報編集委員》 大川隆永・淵上啓太・小林辰幸

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1・真実かどうか

2・みんなに公平か

3・好意と友情を深めるか

4・みんなのためになるかどうか

第1931回 例会 2012年 8月28日(火)

- | | | |
|----------------|-------|--|
| ■国際ロータリー会長 | 田中 作治 | ■例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 得居 仁 | ■例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F |
| ■第12分区ガバナー補佐 | 川上 伸夫 | ■事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 長島 正巳 | ■TEL/FAX- 047-344-5696 / 047-344-5696 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 高橋 一彦 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

会長挨拶 長島正巳

8月も残り本日を入れて4日、猛暑からしだいに朝夕は秋めいて来る事と思います。

この夏は異常に暑い夏だった気がするのは私だけでしょうか？

実は、一足早く涼を求めて銀婚式のお祝いに家内とカナダのイエローナイフと言う所にオーロラ観察に行ってきた。なかなか現役で仕事をしているとお互いに休暇がなかなか合わず今回は記念旅行なので強引に休みを取って行って来ました。

カナダでメイキャップでもと考えたのですが、如何せ英語が不得意なので実現しませんでしたのが、少々カナダのロータリーについて調べてみようと思ひあれこれ苦戦をしていた所、なかなか情報が見つからず、日本に於ける歴史を見つけましたので、その話をさせていただきます。

カナダに於けるロータリーの歴史は、1905年にご存知のようにアメリカ・シカゴでロータリーが産声をあげ、1908年にサンフランシスコその後次々とアメリカ国内でクラブが増え第1回総会の年1910年について国境を超えカナダ・ウイニベヅクに、その後、海を渡り1911年にアイルランドとイングランドにて設立、世界的にロータリークラブが増えて来る中、日本では1920年当時三井銀行重役であった米山梅吉氏が国際ロータリーから委任されて東京に世界で855番目にロータリークラブを作り、つづいて1922年大阪、次に神戸、名古屋、京都、横浜に、また当時日本の統治下にあった朝鮮、台湾、さらに満州国にも設立され、昭和15年には48クラブ、2,000名の会員を数えるまでになったのですが、太平洋戦争直前の昭和15年は国際団体に対する圧迫がロータリーにも及び、遂に日本のロータリーは国際ロータリーから一時脱退しなければならなくなりましたが、戦時下にあってもその精神と組織は失われず、例会はつづけられ、戦後の平和回復とともに、国際復帰をめざす努力が実って、1949年（昭和24年）3月東京、大阪をはじめ7クラブが国際ロータリー復帰を認められたとの事です。

現在、約120万人のロータリアンが、200以上の国と地域にある約32,000以上のロータリークラブに所属し、我が国では約9万人、2,300のクラブが活動を行っています。

ロータリーでは、若い人々の活動を支援し、それらの若い人々は、さまざまな形で社会に貢献する活動も行っていきます。それら、インターアクトとローターアクトとしての活動です。

インターアクトとは。

ロータリークラブが支援し、12歳から18歳が所属している奉仕組織です。

現在、世界で120以上の国と地域に約1万2,000以上のクラブがあります。日本では、高校のクラブとして活動している場合が多く、地域社会の中でさまざまな活動を行っています。

海外の人たちへの支援もしています。

ローターアクトとは

ロータリークラブが支援し、18歳から30歳が所属している奉仕組織です。現在、160以上の国と地域に8,000以上のクラブがあります。大学のクラブ活動として、または、同じ地域に住んだり勤務している人たちが集まって、さまざまな活動を展開しています。近年の会員減少の歯止めとしても、この次世代への活動が重要な事業に成る事は、間違えない物となりそうです。

以上



幹事報告 高橋一彦

前年度年会費、未納の方がおりますので宜しくお願いいたします。

(参考) 昨年の最終者は10月が最終でした。8月も末ですので、ご協力をお願いいたします。



会員増強委員会：野村 充 委員長

2012-2013年度 松戸北ロータリークラブ 会員増強委員会委員長を拝命した野村充です。

前年度に引き続いての増強委員会ではありますが、前年鈴木年度では会員増強・選考・職業分類委員会と欲張った委員会でありましたが、本年長島年度では会員増強委員会とシンプルな名称の委員会となりました。委員の構成も副委員長に森谷充伯会員、委員に淵上啓太会員、小林辰幸会員と新推機鋭のメンバーでございます。

昨年度、山田修平第2790地区ガバナーは各クラブ10%会員増強を重点目標としておりました。おかげさまで当クラブは皆様の協力のもと達成することができました。まずもって鈴木パスト会長、並びに会員各位の御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度、得居ガバナーは田中作次RI会長の提唱する「ロータリアンになるよう誰かに声をかけるとき、ロータリーが入会にふさわしい素晴らしい素晴らしい団体であり、ロータリーのお陰で幸せになれることを説明し、勧誘を行うのは入会者の為であること、私たちはみな、ロータリーから恩恵を受けロータリーを愛しているからこそ、入会を通じて自分と同じ思いを人々にも味わってもらいたいと思っているのだ。」との信念に基き、各クラブ純増1名の会員増強を目標として掲げられました。

上記の経緯を踏まえ、活動計画書に記載にあたって

1. 本年度、若い会員による構成なので広い年齢層の入会者を募る。
 2. クラブ会員の理解ある行動の下、退会者の防止に努める。
- とさせていただきます。

